



# みはらふくし情報 11月号

令和3(2021)年  
11月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599  
本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064  
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011  
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

緊急事態宣言の解除に伴い、三原市内ではサロン活動や、会合が少しずつ再開しています。サロンでは、参加者同士が再会を喜び合い、活気も出てきました。全国的に感染状況は落ち着いていますが、引き続きみんなで感染対策を実施し、福祉活動に取り組めるように、ご協力をお願いします。

## 長い自粛期間を経てサロン再開へ ～本郷町北方地区 原市スマイルサロン～

本郷地域センター

「原市スマイルサロン」は、本郷町北方地区にある原市第一町内会のサロンです。月2回、健康体操や茶話会に取り組んでいます。新型コロナ感染症の拡大に伴い、5ヶ月間活動をお休みしていましたが、10月から活動を再開されました。

普段なら10名程度が参加されるそうですが、訪問日は6名の参加でした。欠席者の中には、「まだ参加するには気兼ねがある。」「もう少し状況が落ち着いてからにする。」など参加を遠慮する人もいます。

筋力アップ体操では、片足を上げてバランスを取る難しい体操もありましたが、みなさん声を出して取り組んでいました。参加者からは、「前より体操がしんどかった。」と長い自粛で筋力が落ちたことを実感されていました。

代表者からは、「ようやく再開できて嬉しい。コロナ禍で継続した活動は難しいけど、もう少しで100回目の開催なので、それを目標に楽しみながら活動していきたい。」と話されていました。

社協では、活動再開に向けた相談の他に、長い自粛で以前と生活状況や様子が変わった方や、参加が遠のいて気になる方など、参加者等の暮らしの相談にも対応します。お気軽にご相談ください。



筋力アップを目的とした体操に取り組む様子



感染対策を取りながら茶話会を楽しむ様子

# 連携は日頃の関係づくりから

## ～第1回「ながら見守り連絡交流会」～

大和地域センター

10月21日（木）に、「ながら見守り」に協力する事業者と、民生委員や福祉専門職を対象にした交流会が開催されました。この会は、「ながら見守り」の現状共有と事業者との関係づくりを目的に、「生き生きネット大和（※1）」が主催したもので、当日は17人が参加されました。

「ながら見守り」とは、大和町内の事業者（商店、医療機関、警察、消防、郵便局など）に、業務の中で、高齢者等を気にかけていただき、気になることがあれば、社協、高齢者相談センター、三原市保健福祉課へ連絡するという、事業者による見守り活動です。「生き生きネット大和」では、“住民、事業者、専門職の垣根をなくし、配慮が必要な人をみんなで支える”という方針を掲げ、現在34の事業者と連携しています。

交流会に参加者した事業者からは、「新聞受けに郵便物が溜まった家や、認知症かなと感じる人を対応する時に、気にはなるけど、連絡した方が良いのか判断に悩む。」「日頃の関係性ができれば相談しやすい。」と言った声が聞かれました。「生き生きネット大和」では、今後も定期的に交流会を開いたり、事業者を訪問してお話を伺ったりして、事業者との関係を深める取り組みを進めていきます。



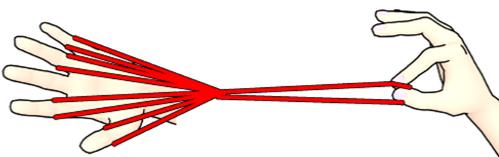
### ※1「生き生きネット大和」とは…

地域住民や民生委員の他、福祉専門職や行政も参加し、大和町内の福祉を推進する会議。

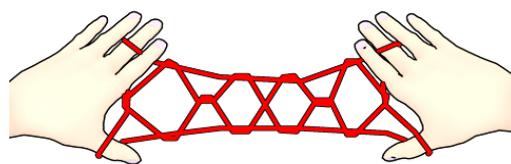
## お役立ち情報

## 「あやとり」にレッツチャレンジ!

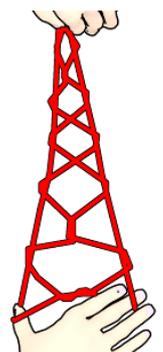
「あやとり」は指先を器用に使いながら何を作るか考える必要がありますので、脳トレにピッタリ！昔から親しまれた手遊びのひとつなので、参加者の中には、上手な方もいらっしゃるのではないでしょうか。サロンのみなさんと、懐かしみながらやってみませんか？



「ほうき」



「四段はしご」



「東京タワー」



昔を思い出しながら作ってみてね！  
さて、全部できたかな？